

電気と保安

2026
1・2月号
No.531

●新春ごあいさつ ▶P.1

謹んで新春のお慶びを申し上げます

●電気でつながるエクセレント・パートナー ▶P.3

伝統の継承と、未来への挑戦で、
京菓子の新たな価値を創造

株式会社鶴屋吉信

●保安エピソード ▶P.7

風雨にさらされた屋外架台の電線による漏電事例

◆省エネ情報 ▶P.8

冬こそ、省エネ！
快適さを保ちながら、地球にも家計にもやさしく

●でんきなお知らせ ▶P.9

中小企業向け省エネ促進の取組みについて

●関西深発見 ▶P.11

漆と伝統が息づく小さな工芸のまち
黒江を歩く

和歌山[海南市]

●ハロー！エキスパート ▶P.15

林業の流通革命を目指す「アツギベンチャー」

株式会社あしだ

◆そとごはん大作戦 ▶P.17

葛ブリンの巻

◆静電気のお話 ▶P.18

電気保安のベストパートナー
今日も
皆さまのまちを
見守ります

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

旧年中は、関西電気保安協会の事業活動に格別のご理解ご支援を賜り、誠にありがとうございました。

皆さまのご支援のもと、当協会は昨年12月1日に創立60周年を迎えることができました。

昭和40年の創立以来、地域の皆さまの暮らしと産業を支える

電気保安の担い手として歩み続けてこられましたのも、

ひとえに皆さまのご愛顧の賜物であり、心より御礼申し上げます。

これからも「最高の技術とサービスで、安全の質を高め、最大の安心を生み出す。」との経営理念のもと、
よりご満足いただける電気保安サービスの提供に努めてまいります。

昨年開催された大阪・関西万博は、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、

国内外から多くの来場者を迎え、関西の魅力を世界に発信する好機となりました。

さまざまな未来の暮らしや技術が提示される中で、こうした未来の実現には、

電気が安全に安心して安定的に利用できることが不可欠であることを、改めて認識いたしました。

私たち関西電気保安協会は、こうした未来社会の実現に向けて、

これからも技術力と組織力の向上に努め、

持続可能な社会づくりに貢献してまいります。

本年も、皆さまの安全と快適な電気利用を支えるパートナーとして、

誠心誠意努めてまいります。

引き続きのご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げますとともに、

本年が、皆さまにとって、健やかで希望に満ちた一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

縁を結び、安全を届けます。





卵の黄身あんを用いた桃山生地で白あんを包み、福を招く「お多福豆」になぞらえた焼き菓子「福ハ内」。「ますます」繁盛しますように、との思いを込めた「枳」形の特製木箱入りの縁起菓子です。

本コーナーでは、当協会のお客さまを訪問し、主力事業や独自の取組みについてご紹介させていただきます。今回訪れたのは、京都・西陣で220余年の歴史がある老舗京菓子司、株式会社鶴屋吉信^{ゆうち}さま。代表銘菓「柚餅^{きょうかんぜ}」「京観世」など伝統の味を守りながら、現代の感覚を取り入れた新しい和菓子やカフェも展開しておられます。専務取締役の稲田啓太郎さま、人事部部長の橋本兼至さまに、当協会京都上営業所の所長、担当者を交え、経営理念や五感に響くお菓子づくりに込めた思い、将来への展望などについてお話をうかがいました。



株式会社 鶴屋吉信

京都府京都市上京区今出川通堀川西入る
<https://www.tsuruyayoshinobu.jp/>

220余年の伝統を受け継ぎ「ヨキモノ」を追求し続ける

鶴屋吉信は1803年、京都・西陣に創業しました。格式高い西陣織の産地として知られる西陣は、茶の湯文化を支え、その美意識を育んだ特別な場所です。この地で技術と感性を磨き、京菓子の伝統を受け継ぐ菓匠として、京都御所や宮家、有名社寺、茶道や華道のお家元などの御用を務めてきました。代々受け継がれている家訓に「ヨキモノヲツクル為ニ材料、手間ヒマヲ惜シマヌ事」という一条があります。お菓子づくりの哲学として、最高の材料と最高の風味、季節の移ろいを写しとる優美な意匠を大切に、お客さまの心に響く「ヨキモノ」を追求しています。その中から、「柚餅」をはじめ、「福ハ内」や「京観世」など当社を代表する銘菓が数多く生まれてきました。

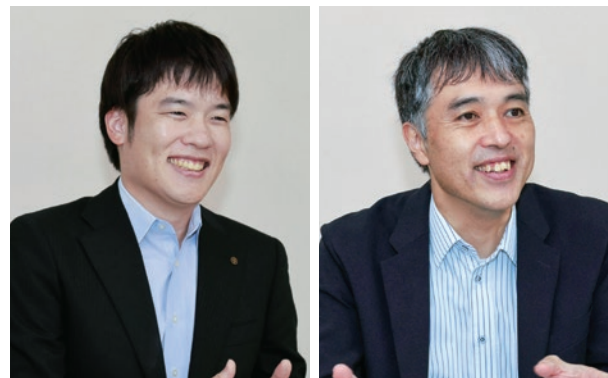


本店入口の大きな看板にも菓名を刻まれた「柚餅」は、最高級のもち米からつくられた求肥に柚子を練り込み、阿波和三盆をまぶした上品なつまみ菓子。



丹波大納言のつぶあんを村雨で巻いた「京観世」は、能楽の家元・観世家ゆかりの井戸の渦巻く水を表現したロングセラー銘菓。

今日まで220余年の歴史を重ねてきましたが、さらなる革新なくして継続はありません。より多くのお客さまに愛される企業として歩み続けるために、私たちは新たに「MVV: Mission＝京菓子文化を広く後世に伝える。Vision＝幅広い年齢層に和菓子市場を創造する。Value＝材料、手間暇を惜しまないヨキモノづくり」という3つの行動指針を定め、さまざまな挑戦に取り組んでいます。



「京菓子の伝統と文化を守り伝えるため、新たな価値の創造にチャレンジしていきます」
 (写真左から)株式会社鶴屋吉信
 専務取締役 稲田啓太郎さま、人事部部長 橋本兼至さま

京菓子のさまざまな楽しみ方を体験できる鶴屋吉信本店

「京菓子文化を広く後世に伝える」その象徴的存在が、堀川今出川に位置する鶴屋吉信本店です。京都の伝統建築である町家の様式に、茶庭や露地など数寄屋造りの粋を採り入れた建物です。入口を飾るのは、文人画家・富岡鉄斎の揮毫となる「京名物柚餅」の看板と、四季折々の京都の自然や歳時記をテーマにしたウィンドウディスプレイ。1階のゆったりとした店舗スペースには信楽焼の大陶板が敷き詰められ、その奥には、京都が誇る日本画家・上村淳之先生による鶴の杉戸絵が飾られ、細部まで和の美意識と匠の技を感じる空間となっています。



数寄屋造りの名建築家・中村外二氏のデザインによる本店は、景観に配慮した建築として京都市都市景観賞を受賞。

電気でつながる エクセレント パートナー

本コーナーでは、当協会のお客さまを訪問し、主力事業や独自の取組みについてご紹介させていただきます。



「五感に響くお菓子づくりを、電気保安の面からしっかりとサポートしていきます」
 (写真左から)関西電気保安協会 京都上営業所 所長 山中聡、
 技術課 保安技師 武内泉

一方、茶室や喫茶スペースのある2階は、エレベーターホールにフランス古城で使われていた煉瓦を敷き詰め、和洋の垣根を越えた趣向でお客さまをお迎えします。その一画に設えた「菓遊茶屋」は、お客さまの目の前で季節の生菓子をおつくりする、常設では画期的な実演カウンター。熟練の職人の技とコミュニケーションを楽しみながら、出来たてのお菓子をお召し上がりいただけます。そのほか、茶庭を備えた本格的な茶室「游心」や、テーブル席タイプの「お休み処」、さらに本店隣には北歐風のカジュアルな「tubara cafe」を併設し、茶の湯文化とともに発展した伝統の生菓子



職人の技と、出来たての生菓子を堪能できる「菓遊茶屋」(ご予約優先制)。



美しい茶庭を眺めながら和菓子が味わえる「お休み処」。

から、コーヒーや紅茶に合う焼き菓子まで、さまざまなスタイルで京菓子の魅力を体験いただけます。



天井が高く、開放的な「tubara cafe」。大きな窓から庭園を眺めることができ、店内には絵本なども置かれ、お子さま連れにも人気です。



伝統の和菓子和同じ素材や技、日本の伝統色にこだわりながら、「かわいい」と「おしゃれ」を表現した新感覚の和菓子「IRODORI」。

新ブランド開発やコラボ商品で

新たな和菓子市場を創造

「幅広い年齢層に和菓子市場を創造する」ため立ち上げたのが新感覚の和菓子ブランド『IRODORI』です。パステルのようなスティック型の琥珀糖、職人の手仕事で一本一本つくるカラフルな有平糖（飴）、洋菓子のマカロンのように可愛い一口サイズのもなかや、フルーツやヨーグルト風味のスクエア型ようかんなど、和菓子の概念を超えた楽しい品揃えです。和菓子にあまりなじみのない若い世代にも気軽に手に取ってもらえるよう、伝統の技とおいしさのもと、新しいスタイルやフレーバー、その楽しみ方を「いろいろとどろり」に発想しました。鶴屋吉信とはガラリと雰囲気が異なり、白を基調としたおしゃれでモダンな雑貨店のような『IRODORI SHOP』で販売しています。

また、同じ京都の企業である任天堂株式会社さまとのご縁でコラボに至った「カービィのまんまる手づくり最中」も、幅広い年齢層から大きな反響をいただいています。和菓子の老舗と人気ゲームのキャラクターという組み合わせの意外さに加え、食いしんぼうで何でも吸い込むというカービィの得意ワザのように、こだわりの「あん」を好きなだけ最中に挟んでください、というストーリーも話題を呼び、商品の売れ行きだけでなく、「新しいことにチャレンジする企業」としてリクルート面でも予想以上の効果がありました。このほか、ニューヨーク発のファッションブランドANNA SUIさまとのコラボや、ハロウィンやクリスマスなど洋のイベントに対応した創作生菓子の開発にも意欲的に取り組んでいます。

「FACTORY店」も併設した「ヨキモノづくり」の生産拠点

「材料、手間暇を惜しまないヨキモノづくり」の中心となるのが、2018年に京都府亀岡市に完成した工場「鶴屋吉信FACTORY」です。おいしさと安心・安全を第一に、それまで京都と東京に分散していた6工場を集約し、製造から物流までをひとつにまとめた、こだわりの生産拠点です。



やわらかい焼皮に小倉あんをはさんだ、ベストセラー焼菓子「つばらつばら」。できたてを味るのは「FACTORY店」だけ。



京菓子の基本である「あん」には一切妥協がありません。原料の小豆は、丹波大納言の中でも香りと味の良さが随一と言われる馬路大納言を中心に、丹波や北海道などの国内産を使用。同じ産地でも、天候などによって毎年出来が異なるため、現地視察や品評会を行い、納得できたものを厳選して使っています。砂糖もあん加工に最適な



ザラメを特注するなど、一つひとつの材料を厳しく吟味したうえで、製餡、加工、包装にいたるまで、徹底した品質管理体制を構築しています。とりわけ、職人の手づくりとなる生菓子はクリーンルームで製造し、抜き取り調査で厳しい社内基準に合格したものだけを各店で販売しています。

工場には「FACTORY店」を併設しており、鶴屋吉信の

代表商品のほか、人気のベストセラー焼菓子「つばらつばら」のできたてを限定販売しています。

未来を見据えた取り組みで次なる100年へ

工場の集約は、完成した「あん」や材料の輸送によるCO₂排出量の削減、高効率な設備への切り替えによる省エネ化の推進など、環境への負荷の軽減にも大きく役立っています。また、これまで廃棄していた「京観世」の端の部分をアイスクャンデーに加工したり、お持ち帰りの紙袋を有料化したりと、お客さまにもご理解いただきながら、サステナブルな活動を実践しています。こうした未来を見据えた取り組みは、小学生の社会見学受け入れや、中学での出前授業などの機会を利用して、地域の未来を担う子どもたちに紹介。京菓子の魅力とともに、持続可能な社会の大切さを理解してもらうきっかけになればと考えています。

社会が目まぐるしく変化する中で、京菓子文化の伝統を継承していくには、未来への視点とともに、お客さまの嗜好の変化への柔軟な対応力が不可欠です。例えば近年のギフト需要の縮小に対し、「福ハ内」など人気商品の個包装化で新たなデイリーニーズを開拓したり、異業種とのコラボを通じて発想力を磨いたりなど、さまざまなチャンスをプラスに生かして商品力やブランド力の強化に努めています。こうした取り組みが、鶴屋吉信の新たな魅力となり、次なる100年へと歩み続けられるよう、これからも精進してまいります。

文人画家富岡鉄斎にも愛されたおいしさを、便利な個包装に。



つながる365日

お客さまからいただいた声▶

快適なおもてなしに「デマンド監視システム」は欠かせません。

当社目線のアドバイスに感謝

保安協会さんとは長いおつきあいで、亀岡工場でもお世話になっております。本店には、喫茶部門も併設しているため来店客さまが多く、電気使用量に占める空調のウエイトが高くなります。快適な空調を維持しながら、省エネにも役立つ「デマンド監視システム」は当社にぴったりのサービスです。定期点検では、デマンド値の報告と最適な数値をご提案くださるので、随時変更しています。また作業時には衛生面での配慮をいただくなど、当社の目線に立った対応やアドバイスには本当に感謝しています。

社員の意識向上も期待

亀岡工場で、大雨による漏電の危険性を感じたことをきっかけに、素人ながら電気工事士の勉強を始めました。資格取得したことで、電気のありがたさとともに、電気の危険性や怖さを知っておくことの大切さを改めて感じています。万一電気が止まれば、たちまち業務に支障が出ますので、機器を正しく使うことや、何かあったときはむやみに触らないなど、社員一人ひとりの認識も高めていきたいです。日頃からの意識づくりが大切だと思いますので、講習会などをお願いできればと考えています。（専務談）



（写真左から）株式会社鶴屋吉信 人事部長 橋本兼至さま、専務取締役 稲田啓太郎さま、関西電気保安協会 京都上営業所 所長 山中聡、技術課 保安技師 武内泉

関西電気保安協会からのお礼▶

デマンドアラーム時の負担軽減策を早急にご提案させていただきます。

株式会社鶴屋吉信さまは、京菓子文化を牽引し国内外のその名を馳せる老舗であり、私たちにもいつも物腰柔らかに対応していただいています。電気の安全使用への意識も高く、以前、高圧ケーブル等の更新をおすすめした際にもスムーズに実施いただき感謝しています。本日お話をうかがう中で、「デマンド監視サービス」の

アラームが鳴ると、社員の方が手作業で事務部門の空調を止めに行っておられるとのことでしたので、空調機の運転抑制を自動で行う「空調機自動制御サービス」を含め、皆さまのご負担を減らしながら、省エネにも貢献できるご提案をさせていただければと思います。これからも「電気保安のベストパートナー」を目指し、正確で誠実に業務を実施してまいりますので、電気に関するお困りごとやご質問があれば、お気軽にご相談ください。

保安エピソード

不要な配線の放置は 漏電や感電事故に至る危険があるので撤去しましょう！

風雨にさらされた屋外架台の電線による漏電事例

■姫路支店 姫路営業所

今回は、離島における不要配線による漏電トラブルに対応した事例を紹介いたします。

離島のドック施設から漏電警報を受信

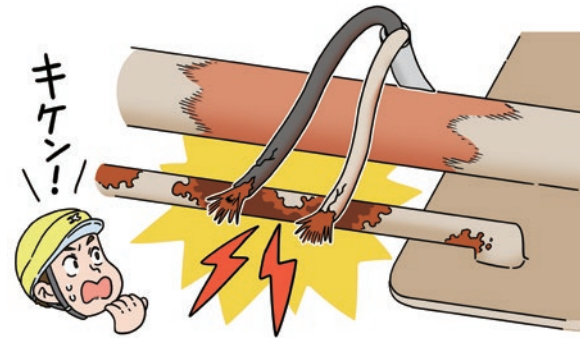
ある寒い冬の朝のことです。事務所へ出勤すると、当協会の監視指令センターより、私が担当するお客さま受電設備から漏電警報を受信したとの、連絡がありました。取り急ぎ、お客さま事業所へ漏電調査に向かうことにしました。そのお客さまは、離島にあるドック(船の建造・修理)の施設で、島へはフェリーで30分ほどの移動になります。船にゆられながら、漏電原因を考えているうちに現地に到着しました。



屋外架台に残る途切れた電線が原因

船を降り、お客さま事業所へお伺いし、連絡責任者さまに、何か異常がなかったかを問診をしましたが、特に変わったことはなく、心当たりはないとのご返答でした。早速、お客さまにキュービクルの鍵をお借りし、漏電調査を開始しました。電灯変圧器の配電盤回路ごとにクランプリークメーターで漏洩電流を測定した結果、電灯用配電盤で漏洩電流5Aを検出しました。さらに回路を絞り込み調査すると、屋外架台に送電されている回路が漏電していることが判明しました。漏電回路が繋がっている建屋の北側に向かい、まずはそこに設置されているはずの架台の照明器具を確認することにした。しかし、肝心の照明器具は見当たらず、途切れた電線のみが残された状態でした。お客さまに確認すると、照明

器具は現在不要のため取り外しており、電線だけがそのまま残っているとのことでした。架台は、海風が強く吹きつける沿岸部にあり、長い期間、塩分を含む風雨にさらされていたことから塗装が剥がれ、これに露出した充電部が接触して漏電が発生したのだと思われます。非接地相(黒色)が架台に触れ、充電状態となっていました。



有資格者による不要配線の撤去を依頼

感電の危険性が高い状況でしたので、事故に至らなかったことにホッと胸を撫でおろしました。応急処置として被覆の剥がれた電線の充電部露出箇所絶縁テープによる養生処置を施し、漏電警報の復帰も確認しました。連絡責任者さまには、かなり危険な状態であったことをご報告するとともに、不要な配線を放置しておくこと漏電や感電事故に至る危険があることをご説明し、不要配線の撤去をお願いしました。また、不要配線が電路に繋がって充電状態であると、ペンチ等での切断は短絡(ショート)や、最悪の場合は災害につながるおそれもあります。必ず電気工事業者などの有資格者に依頼していただくよう重ねてお願いしました。

おわりに

日常点検の重要性を改めて実感するとともに、今後、点検時には不要配線も含め見落としがないよう今まで以上に気を引き締め、点検業務に努めたいと思いました。

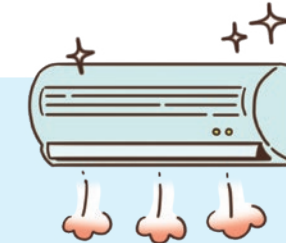
冬こそ、省エネ！

快適さを保ちながら、
地球にも家計にもやさしく

冬は暖房や照明の使用が増え、
エネルギー消費が高まります。
ちょっとした工夫で省エネに取り組みましょう！

暖房

- ★ エアコンの風向き(吹き出し角度)は下向きに設定し、フィルターの掃除もしましょう。
- ★ サーキュレーターなどで、暖まった空気を循環させましょう。
- ★ 夜は厚手のカーテンで保温効果を高めましょう。
- ★ 分割して暖める機能がある床暖房やカーペットは、人のいる部分だけを温めましょう。



照明

- ★ 不要なときは、こまめに消しましょう。
- ★ LED照明への取り替えもご検討ください。



テレビ

- ★ 見ていないときは、こまめに消しましょう。
- ★ 画面の明るさを調節しましょう。



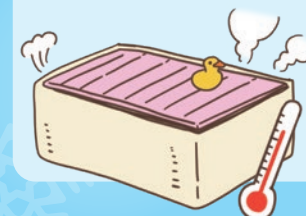
冷蔵庫

- ★ 壁から適切な間隔を空けて設置しましょう。
- ★ 設定温度を調整しましょう。
- ★ 熱いものは冷ましてから入れましょう。
- ★ 詰め込みすぎないように注意し、ドアの開閉回数・時間を減らしましょう。



お風呂

- ★ シャワーはこまめに止めましょう。
- ★ お風呂はできるだけ間隔をあけずに入り、追い焚き回数を減らしましょう。
- ★ 次に入る人がいる場合は、浴槽のフタを閉めて温度をキープしましょう。



トイレ

- ★ 暖房付きの便座は必ずフタを閉めましょう。
- ★ 暖房便座や温水の温度は低めに設定しましょう。



でんきな お知らせ vol.32

中小企業向け省エネ促進の取組みについて

■はじめに

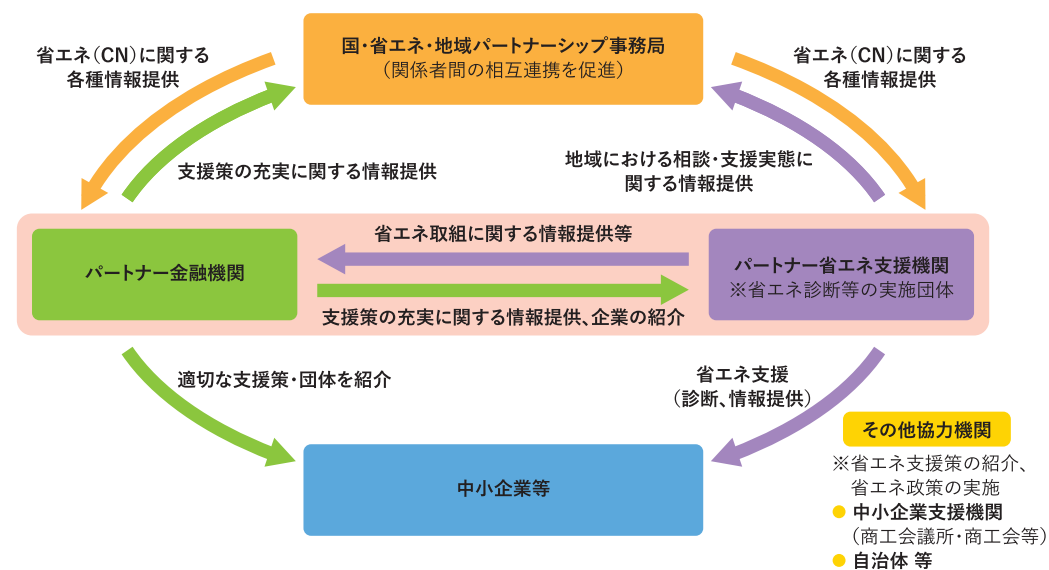
日本は2050年カーボンニュートラルを宣言しており、その実現には規模の大小を問わず企業の省エネが不可欠です。今回は、中小企業に省エネを後押しする様々な取組みを紹介します。



■省エネ・地域パートナーシップについて

省エネ・地域パートナーシップとは、地域で中小企業等の省エネを支援する体制を構築するため、資源エネルギー庁が立ち上げた枠組みで、現在270を超える金融機関や省エネ支援機関が、パートナー機関として参加しています(2025年11月現在)。資源エネルギー庁および本パートナーシップ事務局と、中小企業等の身近な相談先であるパートナー機関等との間で、省エネ政策・取組等に関する各種情報の提供や交換を行いながら、中小企業等の省エネを地域で支える取組みを進めています(図)。

図 省エネ・地域パートナーシップのイメージ図



また近畿経済産業局では、省エネ・地域パートナーシップをより機能させるべく、同パートナーシップに参加する地域の金融機関と省エネ支援機関のつながりづくり、さらなる連携強化を目指して「GX CROSSROAD」と題したイベントを昨年2月、9月に開催し、省エネ支援機関の取組みを紹介するピッチ、先進的な取組みを行う金融機関の事例紹介や仮想企業の支援をテーマにしたワークショップ等を実施しました。なお、この「GX CROSSROAD」は本年2月頃にも実施を予定しております(写真1)。



写真1 第二回 GX CROSSROADの様子

■金融機関と連携した中小企業の省エネの促進

中小企業の省エネを後押しするために、国では「省エネ診断」や「省エネ・非化石転換補助金」などの支援策を用意しています。「省エネ診断」とは、省エネの専門家が事業所や工場のエネルギー使用状況を把握し、省エネできる改善項目を提案するものです。診断費用は国が9割補助しているので、企業の負担額は6,000円～30,000円程度です。また「省エネ・非化石転換補助金」は設備更新の際の導入費用などを国が補助するものです。

これらの支援策を1つでも多くの中小企業に利用してもらうためには、経営者との距離が近い金融機関の協力が不可欠です。そこで近畿経済産業局では、金融機関職員に対して省エネ・脱炭素分野の政策動向、支援策の概要や利用方法などを紹介する勉強会を実施したり、省エネ診断の現場に金融機関職員と同行してフォローアップをしたりなど、地域の金融機関と連携して様々な取組みを行っています。

■省エネおじさんカード

中小企業の省エネを後押しするためには、省エネそのものに対する認知度・理解度を向上させることも必要です。一方、省エネという分野は、用語が難解・アクションの効果が見えにくいなど、省エネへの行動喚起につなげることに課題がありました。そこで、近畿経済産業局では楽しく省エネに触れていただき、分かりやすく効果を可視化するためのツールとして「省エネおじさんカード」を作成いたしました(写真2)。

カードには省エネ取組によるコスト削減額・CO₂削減量を分かりやすく記載しており、前述した金融機関職員勉強会で活用したり、近畿経済産業局主催イベントで配布したりしています。

このように、地域企業の省エネを促進するために、資源エネルギー庁・近畿経済産業局では様々な取組みを行っています。



写真2 省エネおじさんカード

事業内容を
確認できます。

経済産業省
省エネ・地域
パートナーシップ

経済産業省
近畿経済産業局

近畿経済産業局 エネルギー対策課 06-6966-6051

漆と伝統が息づく小さな工芸のまち 黒江を歩く

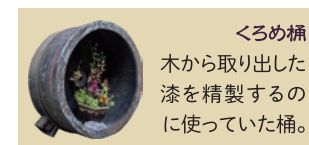
紀州漆器の産地として栄えた和歌山県海南市黒江。
室町時代から職人のまちとしてつくられた家並みが
今も残っており、路地散策は黒江のまちの
新しい魅力になっています。

ゆったりとした時間が流れる漆の里

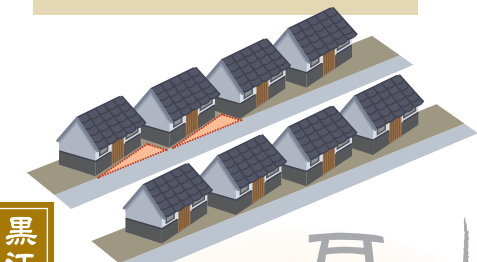
和歌山県海南市黒江は、古くから会津(福島県)、輪島・山中漆器(石川県)とともに日本三大漆器産地のひとつに数えられました。今も残る細い路地に続く格子戸や、道々に置かれたくろめ桶、のこぎりの歯のように並ぶ家並みは、歩くだけで時代をさかのぼったような情緒を感じさせます。

中国大陸から伝えられた漆器の技法は、室町時代には庶民漆器業となりました。黒江には豊富な紀州漆を求め

近江系の木地師集団が移り住み、木碗の製造を始め、渋地碗の製作に発展して江戸時代には大名産地として繁栄しました。職人の手によって磨き上げられた艶やかな器は、今も暮らしの中で息づき、近年は、古民家を活かしたカフェやギャラリーもでき、伝統と新しい感性が共存するまちへと進化しています。



のこぎりの歯状の家並み
紀州漆器の繁栄とともに手狭となった黒江地区は埋め立てが行われ、平行四辺形の区画に家を建てたため、家の前に三角形の空き地ができ、のこぎりの歯のような家並みが形成されたというのが有力な説。



黒江のまち

至黒江駅

1 匠の技が創り出す伝統美 紀州漆器伝統産業会館(うるわし館)

紀州漆器の魅力を紹介する施設。紀州漆器の販売のほか、漆器がどのようにして作られているのか、製造工程を紹介するパネル展示や、何とんでも大人気な蒔絵体験(要予約)も実施しています。

■ 海南市船尾222番地 ■ TEL:073-482-0322
■ 10:00~16:30 ■ 休館日:毎週水曜日、お盆、年末年始



気軽にできる蒔絵体験

2 ぬりもの文化が息づく場所 黒江ぬりもの館

江戸時代の漆職人の工房兼住居を改修した古民家カフェ。漆塗りの器でいただく粕汁定食(冬期限定)や黒江善哉など、漆器ならではの手触りや質感も一緒に楽しめます。地元、寺尾牧場のノンホモ牛乳と平飼卵でつくられる、黒江ぶりんもおすすめ。アンティークから手頃なものまで紀州漆器も販売しています。

■ 海南市黒江680
■ TEL:073-482-5321
■ 11:00~17:00
■ 火・水曜休
(祝日の場合営業)



こだわりの「黒江ぶりん」はやさしい味わい。黒みつソースときなこをお好みで。単品500円(税込)。

3 海の神様をお祀り 金比羅大権現

こじんまりとしたお社に常夜燈が寄り添うように立っています。この辺りは昔、船着き場だったため、海の神様である金比羅大権現が祀られたと考えられています。



4 静かな高台に佇む杜 中言神社

夫婦2柱の神を主祭神とし、こどもの生育成長と縁結び、家内安全、陰陽和合の神として地域の人々から崇拝されています。境内から湧き出ている「黒牛の水」は紀の国名水に選ばれ、境内の一角には黒牛湯を詠んだ万葉歌碑が建てられています。

■ 海南市黒江933番地 ■ TEL:073-482-1199
■ 駐車場なし



静かなまちに水の恵みが息づく

中心部からすこし足をのぼすと、静かな高台に、黒江のまちを見守るように佇む中言神社があります。社殿へと続く参道をゆっくり登っていくと、凛とした空気が広がり、まちの喧騒を忘れる落ち着いた時間が流れます。小さな境内ながら、きちんと手入れされた社殿や石段は素朴で温かく、地元の方に大切に守られてきたことが感じられます。

古代、この周囲は美しい入江で、潮の満ち引きによって見え隠れする大きな岩が黒い牛のように見えたことから、黒牛湯と呼ばれていました。境内から湧き出ている「黒牛の水」は紀の国名水に選ばれており、そのやわらかな味いは、地元酒蔵の名手酒造の仕込み水にも使われています。

この冬は南国和歌山で、静かなまちなみをゆっくりと歩きながら、黒江の魅力に触れてみませんか。

5 黒江の銘酒を呑み比べ 黒牛茶屋

名手酒造店の直営店。名水「黒牛の水」と同じ水脈の仕込み水でつくられた地酒をはじめ、酒粕や和歌山の食品などを取り扱っています。昔の酒樽や酒造道具を飾った趣のある雰囲気です。利き酒を楽しむコーナーもあります。

■ 海南市黒江846
■ TEL:073-482-1115
■ 10:00～17:00
（利き酒コーナーは16:00まで）
■ 駐車場あり
■ 定休日なし。
■ 年末年始休(12月31日～1月4日)



利き酒コーナーでは、銘酒黒牛の純米、吟醸、大吟醸や季節限定の生原酒、フランス「KURA MASTER 2025」で金賞を受賞した梅酒もお楽しみいただけます。



海南市までのアクセス

■ 車の場合(一例)
大阪方面から
阪和自動車道で大阪市内から約1時間、海南東IC・海南IC・下津IC下車
■ 鉄道の場合(一例)
大阪方面から
JR特急くろしおで新大阪駅から約1時間10分、海南駅下車



わがまち名品帖

ころんとした丸い姿がかわいい「紀州雛」

数年前に途絶えていた「紀州雛」を復活させようと、紀州漆器協同組合青年部が活動を始め、試行錯誤の末、4年前に試作品を完成させました。今では、伝統工芸士の手により一対一対精魂込めて紀州漆器の技法により作られています。手のひらにすっぽり収まる、ころんとした丸い姿がかわいらしく、素朴で温かみのある色づかいと、にっこり微笑む表情が人気です。

note

紀州漆器伝統産業会館(うるわし館)

■ 海南市船尾222番地 ■ Tel:073-482-0322
■ 10:00～16:30 ■ 休館日:毎週水曜日、お盆、年末年始



末長く飾れる紀州雛。美しい日本の文化を次世代へ残せます。

おいしいね! KANSAI

濃厚で柔らかな熊野牛のステーキ



もち麦入りご飯、サラダ、惣菜、スープがセットになった、熊野牛ステーキランチは2,420円から(税込み。写真はランプ肉100グラム)。ステーキは塩、わさび、オリジナルソースでお楽しみいただけます。

黒江でお肉を食べるなら、黒江駅近くのダイニングバーDAISY。あっさりとした脂ながら、しっかりと肉の味も楽しめる、濃厚で柔らかな赤身が自慢の熊野牛を使ったステーキランチがおすすめ。ランプ、ミスジ、サーロイン、ヒレの4種類からお好きな部位とグラム数を選べます。ほかにステーキ丼やハンバーグ、月替わりランチとメニューも充実! ゆっくり食事を楽しみたい方にはディナーコースもあります。



食事はもちろん、お酒から食後のデザートまで、さまざまな楽しみ方ができます。



DAISY

■ 海南市岡田591-2
■ TEL:073-483-2180
■ ランチ 11:00～15:00(L.O.14:00)
ディナー18:00～22:00(L.O.21:00)
■ 火曜休、月曜はランチのみの営業、そのほか臨時休業あり

美味しく新しいかんぶつスイーツ



ひじきシフォンケーキ330円、
白ごま・黒ごまミルクプリン350円(いずれも税込)

日本の伝統食品である乾物のうま味がギュッと含まれた「かんぶつスイーツ」は、こどもからお年寄りまで手軽に美味しく食べられる新感覚スイーツです。鉄分・食物繊維豊富なひじきを練り込んだひじきシフォンケーキは、試行錯誤を重ね、1年半かけて開発した自信作。しっとりふわふわの食感にほんのり香る昆布だしとひじきが奥深い味わいを出しています。白ごま・黒ごまミルクプリンは、ごまの風味とてんさい糖の優しい甘みが人気の商品。弾力ある、もちぶる食感を楽しめます。



焼き菓子やこだわりの調味料も扱う広い店内。



野田商店 3時のかんぶつ屋さん

■ 海南市藤白189-1
■ TEL:073-482-3424
■ 11:00～18:00
■ 日曜・月曜休

ハロー！ エキスパート

〈みえるミライ編〉

本コーナーではひとつの分野を極めることで、ミライを見せてくれるエキスパートと関西と世界をつなぐエキスパートが交互に紙面に登場します。



林業の流通革命を目指す 「アツギベンチャー」

国土の約7割を森林が占め、先進国の中で世界3位の森林率を誇る森林資源大国・日本。しかし、安価な輸入材に押されて国産材の価格は低迷し、木材自給率は約4割にとどまり、森林の荒廃や担い手不足が進むなど、日本の林業はさまざまな課題を抱えています。こうした現状を、新たな木材流通システムの構築によって改革しようとしているのが、株式会社あしだ（京都府南丹市）です。3代目の「アツギ」として、木材流通の円滑化を促すネット取引システムの開発によりイノベーションに挑戦する、取締役の芦田拓弘さんにお話をうかがいました。

林業は、森林を育てる意義のある仕事

株式会社あしだは杉、檜を中心に京都府内一の丸太生産量を誇る、創業60余年の林業会社です。小さい頃は、林業に対し「伐採＝自然破壊」というネガティブなイメージを持っており、大学院卒業後はプラント企業に就職し、プラントエンジニアとして働いていました。しかし、家業のホームページづくりを手伝ううちに、林業とは「木を育て、森林を育てる、意義のある仕事」と気づきました。1本の苗木を植えて収穫するまで約60年間、下草刈り～枝打ち～間伐などを日々行うことで、CO₂吸収源や水源の涵養、土砂災害の防止など、森林の多様な機能を保全しているのです。こうした林業への共感を広め、林業を盛り上げたいという思いで、2022年に3代目の「アツギ」として、あしだに入社しました。

一般消費者も参加しやすい植林体験や木工教室、キャンプ場経営など、さまざまな事業を次々と立ち上げておられる芦田拓弘さん。

地域経済の活性化とCO₂削減を両立させる決済アプリ「Eco Pay」もそのひとつです。100円の買物につき1グラムのCO₂削減に貢献できる仕組みで、京都府認定アプリとして、300店舗以上で利用可能です。（2025年2月現在）



最大の課題は、古い流通経路

日本の林業は、安価で安定供給できる輸入材に押され、大変厳しい状況にあります。最大の課題は、「林業会社→原木市場→製材所→メーカー（工務店、住宅/家具メーカーなど）」という、一方通行の流通経路による「ニーズのミスマッチ」です。近年の輸入材の高騰で国産材の需要が高まっているにもかかわらず、林業会社はメーカーのニーズを掴めておらず、売る当てなく収穫した原木を安価で売り払ったりチップ材に加工しています。一方、メーカーは欲しい国産材がスムーズに入手できないのが現状です。そこで、林業業界の知識とネットワーク、エンジニアとしてのシステム開発ノウハウを駆使して『EFF木材流通システム』を開発しました。



木材流通 革命

EFF木材流通システム



売り手



「EFF木材流通システム」は、木材のニーズと供給力（在庫）を見える化したネット取引のオープンプラットフォーム。



買い手

“儲かる林業”を実現する 『EFF木材流通システム』

当システムでは、買い手（メーカー、原木市場など）が欲しい木材の樹種・サイズ・数量などをプラットフォーム上に上げると、対応できる売り手（林業会社）が見積りを公表し、ネット上で契約が成立します。つまり、ニーズに基づいた伐採/加工ができるので、木材価格が安定。産地や加工者もはっきりわかるので、木材の付加価値向上にもつながります。また、見積書の自動作成機能や、売り手と買い手が直接やり取りできるトーク機能なども実装しています。買い手は国産材を安定的に確保でき、売り手は適正な収入を得ることで森林保全にも注力できるようになる点が評価され、当システムは中小企業庁主催の新規事業 pitches コンテスト「第5回アツギ甲子園」で、グランプリ（経済産業大臣賞）を受賞することができました。



株式会社あしだ
<https://www.woody-ashida.com/k-k-ashida/>

目指すは、全国規模の サプライチェーン構築

2025年7月の正式リリース以降、『EFF木材流通システム』は林業会社から工務店まで、京都府内の林業関連企業のほぼすべてにあたる25社に導入されました。今後はシステムの改良と並行して、他の都道府県にも展開し全国規模のサプライチェーン構築を目指します。また、『みやこ杉木』のブランド名で京都市が進めている木材の「地産地消」を促進する活動や、桜の木樽で熟成させたクラフトビールの開発など、自治体や異業種の新たな取り組みにも積極的にかわりながら、林業の可能性を広げていくことが、林業会社の「アツギ」である私の使命であると考えています。

取材を終えて

自身のプラントエンジニアとしての経験とデジタル技術を駆使したネット取引システムのお話をお聞きして、林業へのイメージが一変しました。芦田さんのような熱い「アツギ」さんがいらしゃれば、日本の林業の未来は明るいと感じました。

Eco Forest Friendly!



楽しい！
おいしい！
気持ちいい！

私たちが
おいしいそとごはんを
紹介しまーす！

そとごはん大作戦 葛プリン の巻

キャンプをはじめとするアウトドアレジャー人気の影響で、「そとごはん」を楽しむ方が増えています。洗い物やゴミを最小限にとどめるノウハウは、災害などでライフラインが止まったときにも役立ちそう。山遊びが大好きなオッキー＆チホがご紹介する、おいしい知恵が満載の本コーナー。今回は、室温でも固まるからすぐ食べられる、なめらか食感が絶妙の本格派デザートを紹介し



用意する道具		材 料 (2人分)	
■ コッヘル or 小さめの鍋		抹茶 小さじ 1/4	黒蜜 適量
■ 小さいボウル (マグカップや計量カップなどでもOK)		本葛 大さじ 1.5	キウイ 適量
■ 柄の長いスプーン		寒天 小さじ 1	フルーツミックス (ピーチ、パイナップル、みかんなど) 適量
■ バーナー		豆乳 200ml	冷凍ベリー 適量
■ 盛り付け用器 (グラスなど) 2個		砂糖 小さじ 3	(ラズベリー、ブルーベリーなど)
		お湯 100ml	👉 お好きな具材をトッピングしてください

作り方

- 抹茶を小さいボウルに入れ、100mlのお湯で溶く。
- コッヘルに本葛と寒天を入れ、1を少しずつ加えてよく混ぜる。
- 2に豆乳と砂糖を加えて火にかけ、スプーンでかき混ぜながら弱火で加熱。
- 大きな泡がふくふく出て、全体がぼったりしてきたら火を止めて、熱いうちに盛り付け用器に移す。
- 予熱がとれたら、黒蜜を流しかけ、フルーツを盛り付けてできあがり。

これくらいの
ぼったり感

室温でもしっかり
固まります。
お好みで、保冷剤で
冷やしても美味しい！

静電気のお話 ⚡

静電気とは？

物質が持つプラスの電気(陽電荷)とマイナスの電気(陰電荷)のバランスが摩擦などで崩れ、物体の表面に不均一にたまった電気のことを「静電気」といいます。



静電気は何 V(ボルト)？

人の体に発生する静電気 通常は数百V～数千V程度ですが、乾燥した環境では10,000V(10kV(キロボルト))以上になることもあります。人が「痛い」と感じるのはだいたい3,000V以上の電圧があるときです。

感電死しない？ 電圧は高いですが、電流は人が感電したと感じる1mA(ミリアンペア)の1,000分の1程度の電流なので人体に影響がないため、静電気のみで感電死することはありません。

静電気を防ぐには？

湿度を保つ 加湿器や濡れタオルを使うなどして、室内の湿度を保つと静電気が発生しにくくなります。

帯電しにくい服・組み合わせを選ぶ 綿・麻・絹などは静電気が起こりにくい素材です。ポリエステルやアクリルなどのマイナスに帯電しやすい素材とナイロンやウール、レーヨンなどのプラスに帯電しやすい素材をこすり合わせると静電気が起こりやすくなります。

静電気防止グッズを使う 静電気除去マットや静電気除去プレスレット、静電気除去スプレーなどを使用することも効果的です。

放電する習慣 金属系の場所をさわる前に、体に溜まった静電気を逃がしておくことも大切です。建物の壁、コンクリートの床、木製のドアなどに、肘掛けのひら全体で触れる習慣をつけましょう。

WAKU★WAKU! クロスワード

★ **ホアンくんクイズ** 正解者の中から抽選で10名様に、オリジナルQUOカード(1,000円分)を
進呈いたします。ふるってご応募ください。

本誌を参照しながらタテ・ヨコそれぞれの設問に従って、カタカナでマス目に文字を埋めてください。マス目をすべて埋め、二重枠のA～Dの文字を並べると、ある言葉が出てきます。さてそれは？

※「ッ」や「ヨ」などの促音・拗音は大文字の「ツ」や「ヨ」として見なされます

◆ヨコのカギ

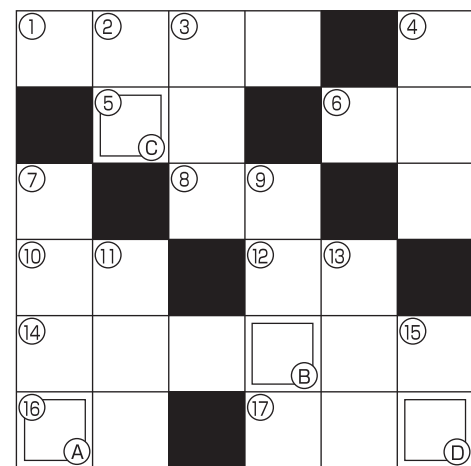
- 今号の「ハロー! エキスパート」では、林業の流通革命を目指す「〇〇〇〇ベンチャー」、株式会社あしださまの取組を紹介します
- もういくつ〇〇とお正月〜♪
- 〇〇デビュー、〇〇キャンプ、〇〇ホームラン。〇〇に共通する言葉は？
- 人生は〇〇あり谷あり。辛いことがあってもきつと乗り越えられるはず!
- 書き初めはこれを使って書きます
- 漢字で書くと「烏賊」。足が10本あります
- 不要な配線の放置は漏電や〇〇〇〇〇〇〇〇に至る危険が。くわしくは今号の「保安エピソード」をご覧ください
- 春・夏・秋・冬の総称。
- 「アンパンマン・シリーズ」に登場する、バイキン星からやってきた女の子〇〇〇ちゃん

◆タテのカギ

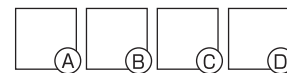
- 関東地方を流れる〇〇川は、三大暴れ川に数えられる日本で2番目に長い川
- 今号の「エクセレント・パートナー」でご紹介するのは、京都・西陣で220余年の歴史がある老舗京菓子司、株式会社〇〇〇吉信さま
- 今号の「関西深発見」では、昔ながらの漆器のまち・和歌山県海南市〇〇〇を訪ねました
- 明日は朝が早いから、〇〇〇〇しないで早く寝よう!
- 心、意識、精神などの意味を持つ言葉。スポーツ〇〇〇〇、オープン〇〇〇〇
- 今号の「〇〇〇なお知らせ」では、中小企業向け省エネ促進の取組についてご紹介
- 上あごが剣のように長く鋭い大型の魚。「〇〇〇マグロ」と呼ばれることもありますが、マグロの仲間ではありません
- 紫がかった濃い青色。英名では「ネイビーブルー」



※画像はイメージです。



★こたえ



■応募方法

協会ホームページ(<https://www.ksdh.or.jp>)内広報誌「電気と保安」ページの応募フォームからご応募ください。

■応募締切 2026年2月28日(土)

■前号の答えは「ヤキイモ」でした。当選者は賞品の発送をもって発表にかえさせていただきます。



OUR
PRIDE

関西電気保安協会は
誇りと気概をもって
社会的使命を
果たします。

**4年に1回、
一般のご家庭にも
電気設備の安全調査にうかがいます**

当協会は電気事業法にもとづき、4年に1回、関西電力
送配電株式会社から委託を受けた地域の一般のご家庭
に電気設備の安全調査に
うかがいます。漏電による
感電事故などを未然に防ぐ
ための大切な調査ですので、
ご協力いただきますよう
よろしくお願いいたします。

